

鋼板製外壁構法標準 SSW2011

近年、外装材の構造安全性について技術的な説明を求められることが多くなってきました。しかし、角波やスパンドレルと呼ばれる鋼板製の外壁については、今まで屋根に比べて強風等による被害例が多くなったこともあります。構造安全性に関する技術的な検討はあまりなされていませんでした。

そこで(社)日本金属屋根協会と(社)日本鋼構造協会は、鋼板製外壁の構造安全性を合理的に説明できるような技術資料、試験方法等の整備を目的に、「鋼板製外壁構法標準委員会」を設け、構造安全性に係る検討を行い、その成果を『鋼板製外壁構法標準 SSW2011』として取り纏め、独立行政法人建築研究所の監修を得て発行しました。

本構法標準では、設計法、性能確認法、施工法等の検討を実施し、試験法と評価法の標準化を行うとともに、高さ13m以下の建築物についても適用の対象とした合理的な構造設計に資する標準仕様を提示しています。このほか、層間変位追随性や防水性に関する試験を通して多様な性能を明らかにするとともに、外壁材特有の課題である美観性確保の観点からも、製品の成形から設計・施工までの留意点を整理しています。

鋼板製外壁構法標準 目次

第1章 総則

- 1.1 適用の範囲
- 1.2 設計・施工のプロセスと役割分担
- 1.3 鋼板製外壁に要求される性能
- 1.4 設計用荷重

第2章 設計

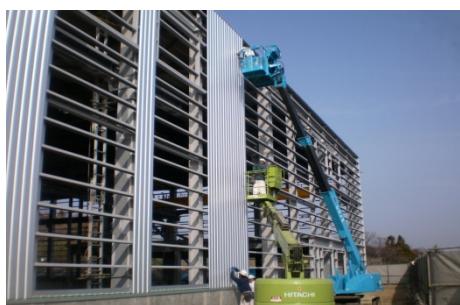
- 2.1 設計の概要
- 2.2 材料
- 2.3 標準構法
- 2.4 仕様選択ルートに基づく設計
- 2.5 試験ルートに基づく設計
- 2.6 下地構法

第3章 施工

- 3.1 施工共通事項
- 3.2 下地
- 3.3 鋼板製外壁材の施工
- 3.4 各部の施工

付録

- 付1. 鋼板製外壁の設計例
- 付2. 設計用風荷重に係る基準



版 型：A4版 ページ数：145P

価 格：会員 2,520円 非会員 3,150円（価格はいずれも税込です。別途、送料がかかります。）

注文方法：ご希望の方は、JSSCホームページ(<http://www.jssc.or.jp>)内の、“刊行物”→“刊行物リスト”→“その他刊行物（ステンレス構造含む）”欄 (<http://www.jssc.or.jp/publication/list01.php?class=6>) からご注文下さい。またFAX(03-5919-1536)の場合は、氏名、住所、電話番号、希望書籍名等を明記の上、お送り下さい。